

技術・情報名	シネラリアとプリムラ・オプコンカの底面給水栽培における緩効性肥料の効果的施肥法		
実施機関名	三重県農業技術センター	花植木センター	分類 2

1. 技術・情報の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

シネラリア及びプリムラ・オプコンカの底面給水栽培における施肥方法を明らかにした。

(1) 施肥の省力化のため、緩効度の異なる被覆複合肥料〔ロング180タイプ(14-12-14)〕、緩効性複合肥料〔IBワンス(12-6-6)〕、尿素入り緩効化成肥料〔IB化成S1号(10-10-10)〕の各緩効性肥料を全量元肥施用とし、培土として浄水ケーキ40%、腐葉土30%、ピートモス20%、川砂10%の配合土を用いた。

(2) シネラリアの場合、生育期間が短いため、緩効度の比較的低いIB化成S1号で、株張り、葉数、花数及び地上部重の増加がみられ、生育良好となるが、その施肥量は、5号鉢当たり10gでは葉が大きく、やや徒長気味になることから、5号鉢当たり5gの施用が草姿のバランスからみて最も適切である。ロング及びIBワンスでは、肥効が遅く初期生育が遅れ、開花時の生育が劣る傾向である。

(3) プリムラオプコンカの場合、緩効度の比較的高いIBワンスで、株張り、花数最大葉及び地上部重の増加状況からみて5号鉢当たり2個(14g)が最も適切である。IB化成S1号では、初期の濃度障害で葉が黄化、褐変し、初期生育が著しく劣る傾向である。

2) 技術・情報の適用効果

(1) シクラメン+シネラリア及びプリムラオプコンカの作付体系で底面給水栽培装置が有効に利用できる。

(2) 緩効性肥料の利用で肥料の節減及び施肥の省力化が可能となる。

3) 普及・利用上の留意点

(1) その他草花類の底面給水栽培施肥法は、品目により生育パターンが異なるので、それに見合う緩効性肥料の種類や施肥量を考慮する。

(2) ロング肥料の肥効は、地温に大きく影響を受けやすく、低温期における施肥では、肥効タイプの短いものを選ぶ必要がある。

2. 具体的データ

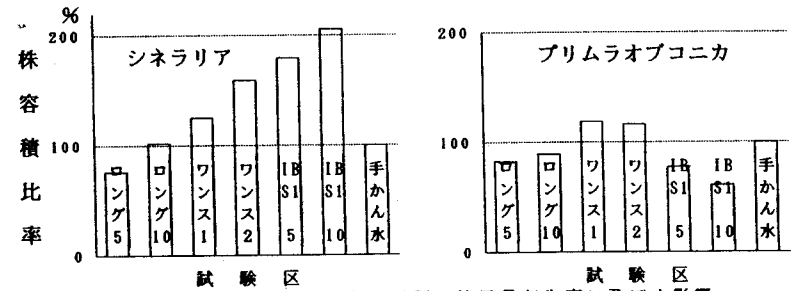
第1表. 底面給水栽培によるシネラリアの生育調査結果(1990. 2.20)

試験区	株張りcm		葉 花		最大葉cm			地上部重g	pH	EC ms/cm
	長	短	数	数	長	短	柄			
ロング 5g	28.0	25.3	24.7	43.7	13.3	12.3	5.2	58.7	6.91	0.109
ロング 10g	30.7	28.0	26.0	91.0	13.3	12.2	5.2	94.0	6.98	0.103
IBワンス 1コ	32.3	29.0	26.3	72.0	14.7	13.3	5.0	95.0	7.09	0.110
IBワンス 2コ	32.0	31.0	31.0	113.0	17.0	16.0	5.3	149.0	7.06	0.118
IBS1 5g	34.7	32.7	40.0	198.3	15.7	16.0	6.0	191.3	6.72	0.201
IBS110g	36.7	36.0	39.7	133.7	18.3	17.7	5.8	236.3	6.87	0.296
対 照	28.3	28.0	27.0	97.0	12.2	12.0	5.3	85.7	6.80	0.070

第2表. 底面給水栽培によるプリムラオプコンカの生育調査結果(1990. 3.15)

試験区	株高cm	株張りcm		葉 花		最大葉cm			地上部重g	pH	EC ms/cm
		長	短	数	数	長	短	柄			
ロング 5g	17.7	30.3	28.0	61.3	15.0	9.4	8.2	9.6	54.7	6.28	0.044
ロング 10g	17.3	32.3	29.0	56.6	17.3	10.0	8.9	9.8	54.3	6.29	0.089
IBワンス 1コ	18.7	38.0	30.3	58.0	19.0	10.0	8.5	11.2	58.7	6.65	0.259
IBワンス 2コ	19.0	34.0	32.7	56.3	19.0	10.8	9.2	10.1	75.0	6.71	0.311
IBS1 5g	17.3	29.3	27.7	60.0	16.0	9.7	8.6	10.7	49.0	6.68	0.056
IBS110g	15.7	28.3	24.7	56.7	14.3	9.2	8.4	9.8	40.7	6.54	0.097
※対 照	18.7	32.0	30.3	62.3	17.0	9.4	8.2	8.6	61.3	6.64	0.051

※対照区は、手かん水栽培で施肥は、IB化成S1号を鉢上部へ2.5g/鉢を2回行った。



第1図. 肥料の種類、施用量が生育に及ぼす影響
手かん水区の株容積を100%としての比較

3. その他特記事項

研究課題名: 鉢物の大規模経営における低コスト生産技術

(シネラリアとプリムラ・オプコンカの底面給水栽培における緩効性肥料の効果的施肥法)

研究期間: 昭63~平成元 予算区分: 県 単

研究担当者名: 栽培研究室 中野 直、西田 悦 造